

あんしんカフェ ～ お寺でも & 教会でも ～

2024年6月9日 西武池袋線で 東久留米駅→飯能駅に向かった。車外の景色を観ながら、心が癒された。スタッフの方が車で飯能駅に暖かく迎かい入れてくださった。ただただ感謝である。

そして、【がん哲学外来『あんしんカフェてんねい』3周年記念講演会&ライブ】の会場（東京都青梅市にある曹洞宗の『天寧寺(てんねいじ)』）赴いた(画像)。

【がん哲学外来『あんしんカフェてんねい』】代表は沖悦子氏(『天寧寺』の住職の奥様)である。会場には多数の参加者であった。講演会では、会場から質問も頂いた。講演後、音楽会であった。大いに感動した。『天寧寺』は鎌倉時代の道元(1200-1253)(中国の宗に渡り、1227年に帰国)のゆかりの鎌倉時代に始まる曹洞宗の寺院である。

筆者は、若き日、浄土宗の開祖 法然(1133-1212)に関する本、弟子の浄土真宗の宗祖 親鸞(1173-1263)の教えの『歎異抄』を熟読したものである。『空海(真言宗) (774-835)、最澄(天台宗) (767-822)は、遣唐使として留学している。【空海は新約聖書、最澄は旧約聖書を日本に持ち帰った。また 聖徳太子(574-622)の『17条憲法』、親鸞の『歎異抄』には聖書的な言葉もありますね! ?】と聞いたものである。

筆者は、今回、別室で、家族も同伴の個人面談の機会が与えられた。大変貴重な時となった。終了後、多数のスタッフの方との交わりの時をもった。早速 3周年記念誌『お寺でも がん哲学外来カフェを始めよう』の製作が決定された。大いに楽しみである。筆者は『巻頭言』を依頼された。想えば、筆者は、2019年『教会でも がん哲学外来カフェを始めよう』(日本キリスト教団出版局)の編集の機会が与えられた。今回、沖悦子氏の息子様がスライド係を担当して頂いた。中学生、大学生の娘さん達も参加されていた。住職のご主人が スタッフ全員写真を撮って頂いた。前住職のお父様にもお会いした。大変貴重な『天寧寺の旅』となった。

がん哲学外来 あんしんカフェ てんねい 3周年記念講演会 & ライブ

令和6年6月9日(日)

- 13:30～開場
- 入場無料(要予約)
- 会場:天寧寺本堂
青梅市根ヶ布1丁目454
★駐車場あります

ご予約はこちらから(定員 50 名)

anshincafetennei@gmail.com
0428-22-3566(天寧寺)



◎14:00～

一般社団法人がん哲学外来名誉理事長
樋野興夫先生記念講演



樋野興夫(ひのおきお、1954年島根県生まれ)医学博士。
順天堂大学名誉教授、恵泉女学園理事長、新渡戸稲造記念センター長。
2008年、「がん哲学外来」を開設。癌で不安を抱えた患者と家族を
対話を通じて支援する個人面談を続けている。

がん哲学外来ウェブサイト <https://gantetsugaku.org>



◎15:00～

カテリーナ古楽合奏団
中世ルネサンス音楽会



1973年、松本雅隆により結成される。中世・ルネサンス時代の音楽を
独自のスタイルで演奏し現在に至る。79年LPレコード「古楽の調べ」
発売。86年・88年、坂東玉三郎演出の「ロミオとジュリエット」に
楽師として出演。95年、ラジオドラマ「宮崎駿の雑想ノート」の音楽を
担当。96年、CD「ドックチア」が、映画「絵の中のぼくの村」の音楽
映画として起用される。97年、ベルギー、ドイツ、イタリアにて公演。
2010年、Bunkaruma ザ・ミュージアム「ブリューゲル版画の世界展」
でコンサートを開催。22年、東映70周年記念作品『THE LEGEND &
BUTTERFLY』にてルネサンス音楽を提供する。「ロバの音楽座」の
姉妹合奏団。通常は6人編成ですが今回は3人編成でお届けします。

※ライブ終了後に樋野先生との個人面談ができます。
ご希望の方はご予約ください。(2,3組)

親鸞の『歎異抄』に『人種、性別、年齢、能力、貧富に関係なく、誰もが平等に「人間に生まれて良かった」と言える』とある。